

第4回 専門職大学基本計画検討委員会

令和3年11月24日
山形県農林水産部

P1

(1) 今後のスケジュールについて

P2

(2) 教員確保の状況について(報告)

P5

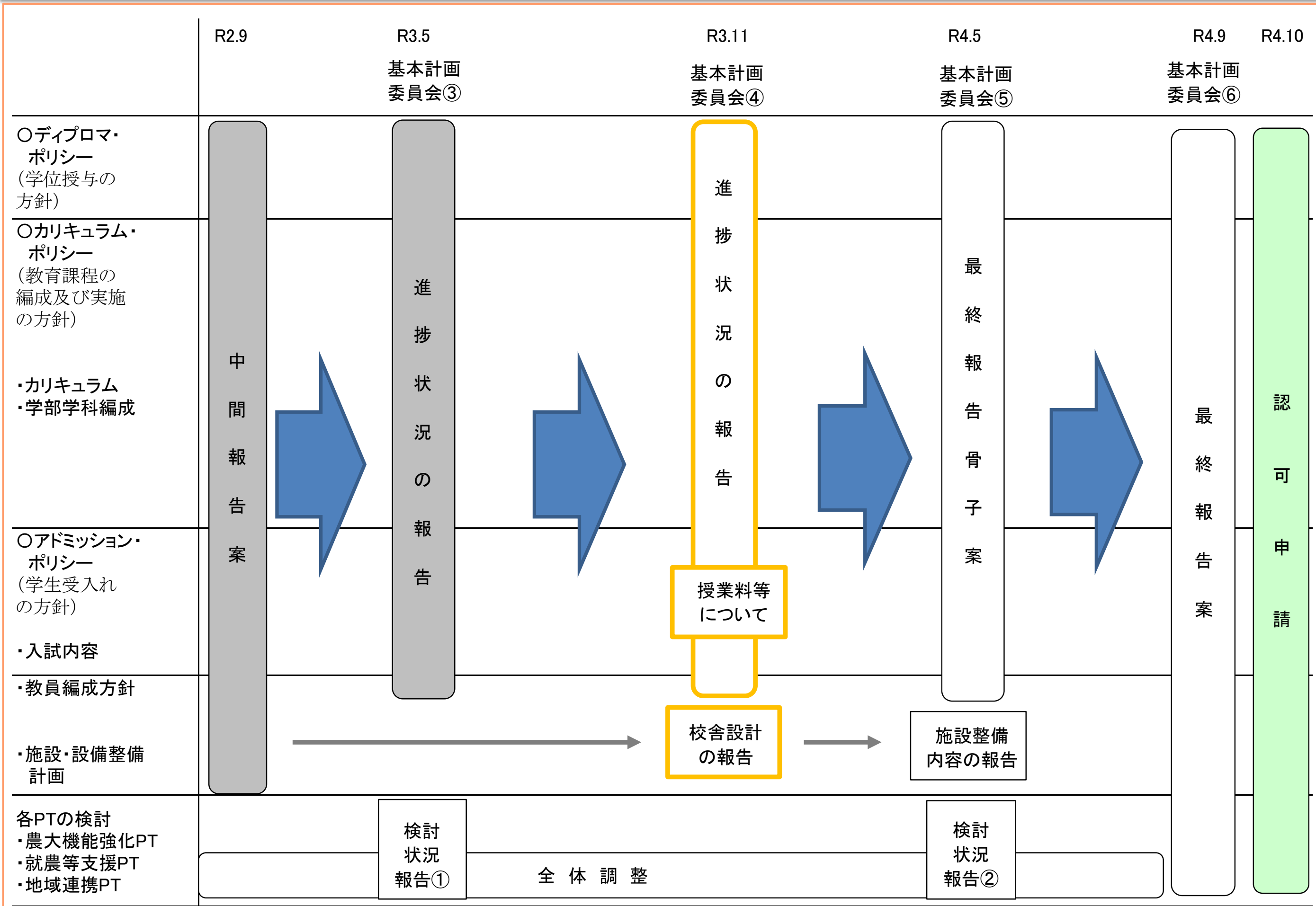
(3) キャンパス整備について(報告)

P6

(4) 第3回委員会後の検討(変更)状況
について(審議)

(1) 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて（令和6年4月開学目標）



(2) 教員確保の状況について(報告)

教員確保のこれまでの進捗及び今後のスケジュールについて

令和3年10月1日から研究者教員の公募を開始しており、令和4年3月までに選考を行い、教員予定者の内定を行う予定。

STEP ①

学長予定者 招聘

神山 修 専門職大学整備推進監
(元農林水産省農林水産政策研究所長)

STEP ②

学部長予定者、学科長予定者
就任打診・内定

農林業経営学部長(兼)農業経営学科長
山形大学農学部 小沢 亙 教授
森林業経営学科長
上智大学 柴田晋吾 教授

STEP ③

実務家教員予定者(県職員)
内定

農業経営学科10名、
森林業経営学科3名を内定

STEP ④

研究者教員 公募選考・内定

◎ 農林水産部に「専任教員公募選考委員会」設置
手順

- ①公募(令和3年10月1日~12月28日)
- ②書類審査(令和4年1月上旬予定)
- ③面接審査(令和4年1月下旬~3月予定)

STEP ⑤

文部科学省との詰め協議
(授業内容)

◎ 内定した大学教員予定者との間で、基本計画の内容を踏まえた詳細な授業内容を構築

↓
文部科学省への事務相談(事前協議)を実施、指摘事項に対応

↓
大学設置認可申請を見据えた授業内容の確定

授業内容確定

R4. 10

大学設置認可申請
(文部科学省)

- ◎ 設置認可申請について公表
- ◎ 教員予定者について公表

中核教員の内定について

学長予定者



神山 修氏

山形県農林水産部 専門職大学整備推進監(早稲田大学政治経済学部卒)

昭和60年 農林水産省入省

平成26年 国立大学法人東北大学大学院法学研究科教授

平成28年 文部科学省大臣官房審議官(生涯学習政策局担当)

平成31年 農林水産省 農林水産政策研究所長

令和3年 山形県農林水産部 専門職大学整備推進監(現職)

農林業経営学部長(兼)農業経営学科長予定者



小沢 亙氏

山形大学農学部教授(博士(農学))

主な研究分野: 農業経済学

昭和58年 (財)農林統計協会 研究員

平成6年 秋田県立農業短期大学 助教授

平成19年 山形大学農学部 教授(現職)

令和3年 山形県農業・農村政策審議会会長

森林業経営学科長予定者



柴田 晋吾氏

上智大学大学院地球環境学研究科教授(博士(農学))

主な研究分野: 自然資源管理、森林環境政策 等

昭和55年 農林水産省林野庁入庁

平成元年 秋田営林局鷹巣営林署長

平成18年 国連食料農業機関(FAO)スマトラ大津波復興首席技術アドバイザー

平成30年 上智大学 大学院地球環境学研究科委員長

令和元年 ケンブリッジ大学客員研究員

専任教員の公募について

公募スケジュール

令和3年8月 農林水産部に「専任教員公募選考委員会」設置
 令和3年10月1日～12月28日 公募
 令和4年1月上旬～3月予定 書類審査、面接審査
 ⇒ 令和4年3月 専任教員内定見込み

公募内容

【公募中の採用職名】

教授又は准教授

【公募中の主な担当科目】

区分	主な担当科目名
農1	植物病理学、栽培各論(稲作、果樹、野菜・花きのいずれか)
農2	栽培各論(稲作、果樹、野菜・花きのいずれか)、農業概論(分担)
農3	栽培各論(稲作、果樹、野菜・花きのいずれか)、農業概論(分担)
農4	家畜衛生学、農業概論(分担)
農5	SDGsと農業・森林業、国際農業論、国際農業実習(分担)
農6	農業経営分析・計画、組織マネジメント論、マーケティング論
農7	食品製造・販売、食品製造・販売実習、農業生産工程・食品衛生論
農8	農業経済学、農業政策

区分	主な担当科目名
森林1	土壌・樹木学、造林学(分担)
森林2 (実務家)	測量学、森林保全学、森林生産学(分担)
森林3	森林情報学、先端森林業技術論(分担)
森林4	木材利活用論、木材加工・販売実習
森林5	森林経営管理学、森林業経営分析・計画

※ 科目名に「(分担)」と記載のある科目は、複数教員が授業の担当となることを想定

専任教員の全体像

	入学定員	収容定員	専任教員				教員数計
			学部長・学科長	研究者教員	実務家教員	予備枠	
農業経営学科	32	128 + α	1	8(8)	10	1	20(8)
森林業経営学科	8	32 + α	1	4(4)	4(1)	1	10(5)
合計	40	160 + α	2	12(12)	14(1)	2	30(13)

※ 学長除く。()内が公募中的人数。

(3) キャンパス整備について(報告)

キャンパス整備について（報告）

校舎基本設計

令和3年8月に校舎基本設計が完了

【整備計画の基本方針】

1. 立地地域に相応しくアカデミックな風合いを兼ね備えた施設
2. 地域のシンボルとなる施設
3. 機能的な施設配置に配慮した施設
4. 環境に配慮した施設
5. 経済性・耐久性に配慮した施設



整備スケジュール

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年4月開学
校舎 実施設計	校舎 建築工事		
	実習施設整備		
県道309 拡幅工事			



【新校舎建築予定地】



【県道309 拡幅工事】

**(4) 第3回委員会後の検討(変更)
状況について(審議)**

「森林業経営学科」への学科名見直しについて

【育成したい人材イメージ】(当初から変更なし)

- 「やまがた森林ノミクス」を体現する経営者となり、かつ、持続可能な自然・環境と調和した森林・林業の担い手として、地域のグランドデザイン(自然的・社会経済的条件を踏まえながら、広域的・長期的な視点に立った地域の構想)を描け、実行できる人材(欧州の「フォレスター」に相当する素養を有した人材)。

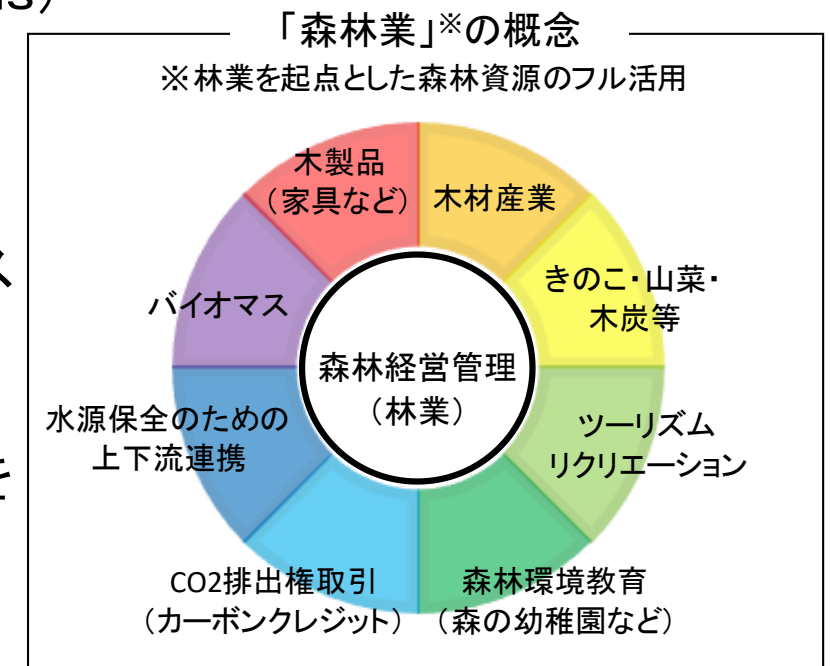
林業の担い手育成に力点を置いた「林業経営学科」の学科名称を決定 (R2.9中間報告)

(見直しの視点) 【国際的な潮流から、今後は林業をはじめとした森林業(森林生態系サービスビジネス)という新たな視点での捉え方が重要】

- 生態系としての森林は、国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)の全てに関連するほか、脱炭素社会への変革や生物多様性保全目標の達成に深く関連しており、様々な森林生態系サービスビジネス※を持続的に活かし、環境と共生した持続可能な地域づくりの源泉となるもの。

※木材生産、バイオマス、高度加工林産品、非木材森林産品、森林サービス産業(ツーリズム・レクリエーション、森の幼稚園など)

- このような国際的な最新知見をはじめとする新たな視点を取り入れた、林業を含む森林業経営についての実践的な教育と地域課題の解決を担う人材育成及び研究開発の拠点にふさわしい学科名称に改める。



(見直し案) 「森林業経営学科」に変更してはどうか

(学科名の見直しに伴い、カリキュラムの名称及び学位を変更)

カリキュラムの主な変更について（学科共通科目）

変更内容 第3回専門職大学基本計画検討委員会の内容から、以下のとおり変更したい。

【凡例】赤字:科目名の変更 緑字:内容(単位数等含む)等の変更
青字:履修時期又は必修・選択の区分の変更 オレンジ字:新規

【共通】

科目		旧 (現在)	新 (見直し案)	単位数 増減	見直しの考え方	
基礎科目	地域等の特性	・「山形・東北学」 (1年前期、必修2単位)	・「山形・東北の風土・伝統文化」 (1年前期、必修2単位)	—	学修内容をより明確にする観点から、科目名を変更	
		・「哲学と東北」 (2年後期、必修2単位)	・「哲学と東北」 (3年前期、必修2単位)	—	Semester履修単位数の平準化に伴う、履修時期の移動	
	コミュニケーション能力	・「英語」 (1年前期、必修2単位)	・「英語基礎」 (1年前期、自由2単位)	—	国際化に対応できる経営者として、海外事業者との交渉など、ビジネスシーンを想定としたより実践的な内容へ変更	
		・「英会話演習」 (1年後期、必修2単位)	・「ビジネス英語Ⅰ」 (1年後期、必修2単位)			
		・「英会話実習Ⅰ」 (2年前期、必修1単位)	・「ビジネス英語Ⅱ」 (2年通年、必修4単位)			
		・「英会話実習Ⅱ」 (2年後期、必修1単位)				
		・「コミュニケーション論」 (3年後期、必修2単位)	・「コミュニケーション論」 (1年前期、必修2単位)	—	履修時期の移動(臨地実務実習(2~4年)の実施前に履修)	
	一般教養			・「SDGsと倫理」 (1年後期、必修2単位)の新設	2	SDGs(環境)に関する学びを深める内容の追加
		・「政治学」 (2年前期、選択2単位)	・「政治学概論」 (2年前期、選択2単位)	—	—	学修内容をより明確にする観点から、科目名を変更
		・「社会学」 (2年前期、選択2単位)	・「社会学概論」 (2年前期、選択2単位)			
・「法律学概論」 (3年前期、必修2単位)		・「法律学概論」 (2年前期、選択2単位)	-2	「SDGsと倫理」の新設に伴う基礎科目総単位数の調整(20単位に収める)による、必修科目から選択科目への変更		
			・「経済学入門」 (2年後期、必修2単位)の新設	2	経済に関する基礎的な学びの機会の確保に伴う追加	
職業専門科目	経営全般	・「生命生体・環境学」 (1年後期、必修2単位)	・「SDGsと農業・森林業」 (2年後期、必修2単位)	—	学修内容をより明確にする観点から、科目名を変更し科目群を移動(「生産理論・技術」⇒「経営全般」)	

カリキュラムの主な変更について（農業経営学科）

変更内容

【凡例】赤字:科目名の変更 緑字:内容(単位数等含む)等の変更
青字:履修時期又は必修・選択の区分の変更 オレンジ字:新規

【農業経営学科(仮称)】

科目	旧 (現在)	新 (見直し案)	単位数 増減	見直しの考え方
生産理論・ 技術	・「農業概論演習」 (1年後期、必修4単位)	・「農業概論演習」 (1年後期、必修2単位)	-2	栽培各論(2年通年、選択2単位)の新設に伴う、学修内容の見直しによる単位数の変更
	・「圃場実習Ⅱ(野菜)」 (2年通年、選択8単位) ・「圃場実習Ⅱ(花き)」 (2年通年、選択8単位)	・「圃場実習Ⅱ(野菜・花き)」 (2年通年、選択8単位)	—	学修内容の親和性を考慮した科目分野区分の整理統合(野菜と花きの統合)
		・「栽培各論(稲作)(野菜・花き)(果樹)」「飼育各論(畜産)」(2年通年、選択2単位)の新設	2	分野別の生産理論の学びをさらに深める観点からの追加
経済全般		・「農業政策」 (3年後期、必修2単位)の新設	2	経営者として求められる学修分野の拡充(農業政策)
	・「海外農業事情」 (3年前期、必修1単位) ・「海外農業事情演習」 (3年後期、自由4単位)	・「国際農業論」 (3年前期、必修1単位) ・「国際農業演習」 (3年後期、自由4単位)	— —	学修内容をより明確にする観点から、科目名を変更
加工・販売	・「食品製造・販売学」 (2年後期、必修2単位)	・「食品製造・販売」 (2年後期、必修2単位)	—	科目名の字句の適正化
	・「食品製造・販売実習」 (3年通年、必修4単位)	・「食品製造・販売実習」 (3年通年、必修2単位)	-2	学修内容の絞り込みによる単位数の変更
地域課題 解決能力	・「東北の野菜」 (2年前期、選択2単位)	・「東北の野菜・花き」 (2年前期、選択2単位)	—	学修内容の親和性を考慮した科目分野区分の整理統合(野菜と花きの統合)
	・「東北の花き」 (2年前期、選択2単位)			
	・「東北の野菜演習」 (2年後期、選択1単位)	・「東北の野菜・花き演習」 (2年後期、選択1単位)	—	
	・「東北の花き演習」 (2年後期、選択1単位)			

職業専門科目

カリキュラムの主な変更について（森林業経営学科2-1）

変更内容

【凡例】赤字:科目名の変更 緑字:内容(単位数等含む)等の変更
青字:履修時期又は必修・選択の区分の変更 オレンジ字:新規

【森林業経営学科(仮称)】

科目	旧 (現在)	新 (見直し案)	単位数 増減	見直しの考え方	
職業専門科目		・「非木材森林産品概論」 (1年後期、必修1単位)の新設	1	非木材森林産品に関する基礎的知識を学ぶ科目の追加	
		・「森林生態系サービス概論」 (1年後期、必修1単位)の新設	1	森林生態系サービスに関する基礎的知識を学ぶ科目の追加	
	生産理論・技術		・「測量学」(2年前期、2単位)の新設	2	スマート林業に対応した学修内容の拡充(ドローンレーザ測量のデータ分析・活用等)
			・「先端森林業技術論」 (2年後期、1単位)の新設	1	
		・「造林学演習」 (1年後期、2単位) ・「森林生産学演習」 (1年後期、2単位)	科目立てしない	-2 -2	学ぶ予定であった現場固有の実践的課題の考察については、「演習林実習Ⅰ」及び「演習林実習Ⅱ」の学修内容で対応
		・「森林土木学」 (1年後期、必修2単位)	・「森林保全学」 (1年後期、必修2単位)	—	学修内容をより明確にする観点から、科目名を変更(森林土木学に含まれていた林道関連の学修内容は、森林生産学で対応)
	経済全般	・「林業実地体験実習」 (1年通年、必修1単位)	・「森林業実地体験実習」 (1年通年、必修1単位)	—	森林業(林業・木材産業、非木材森林産品、その他の森林生態系サービス)の実態を学ぶ内容の拡充に伴う、科目名の変更
・「林業経営分析・計画」 (3年後期、必修2単位)		・「森林業経営分析・計画」 (3年後期、必修2単位)	—	環境経済や森林生態系サービス等の分野も含めた学修内容の拡充に伴う、科目名の変更	
		・「森林環境政策」 (3年後期、必修2単位)の新設	2	経営者として求められる学修分野の拡充(森林環境政策、森林風致管理等)	
・「海外林業事情」 (3年前期、必修1単位)		・「国際森林業論」 (3年前期、必修1単位)	—	学修内容をより明確にする観点から、科目名を変更	
・「海外林業実習」 (3年後期、自由4単位)		・「国際森林業実習」 (3年後期、自由4単位)	—		

カリキュラムの主な変更について（森林業経営学科2-2）

変更内容

【凡例】赤字:科目名の変更 緑字:内容(単位数等含む)等の変更
青字:履修時期又は必修・選択の区分の変更 オレンジ字:新規

【森林業経営学科(仮称)】

科目	旧 (現在)	新 (見直し案)	単位数 増減	見直しの考え方
加工・販売	・「森林エネルギー論」 (3年後期、必修2単位)	科目立てしない	-2	森林エネルギー論で学ぶ予定であった木質バイオマスについては、木質科学概論と木材利活用論の学修内容で対応可能であることから、木質科学概論を1単位から2単位に変更し、森林エネルギー論は科目立てしない
	・「木質科学概論」 (2年前期、必修1単位)	・「木質科学概論」 (2年前期、必修2単位)	1	
	・「木材加工・販売実習」 (3年通年、必修4単位)	・「木材加工・販売実習」 (3年通年、必修2単位)	-2	
職業専門科目 地域課題 解決能力	・「東北の林業」 (2年前期、選択2単位)	・「東北の森林経営管理」 (2年前期、選択2単位)	—	森林業に対応した、総合科目「経営分析・計画演習」の専攻分野(ゼミ)の見直しに伴う変更
	・「東北の林業演習」 (2年後期、選択1単位)	・「東北の森林経営管理演習」 (2年後期、選択1単位)		
	・「東北の木材産業」 (2年前期、選択2単位)	・「東北の森林資源利活用」 (2年前期、選択2単位)	—	
	・「東北の特用林産物」 (2年前期、選択2単位)	・「東北の森林資源利活用演習」 (2年後期、選択1単位)		
	・「東北の木材産業演習」 (2年後期、選択1単位)			
・「東北の特用林産物演習」 (2年後期、選択1単位)				
総合科目	・「経営分析・計画演習」 (4年通年、必修4単位) 専攻分野 〔 ・森林経営管理 ・森林資源循環利用 〕	・「経営分析・計画演習」 (4年通年、必修4単位) 専攻分野 〔 ・森林経営管理 ・森林資源利活用 〕	—	学科名の見直しに伴い、専攻分野の区分を変更

カリキュラムマップ (案) (農業経営学科(仮称))

見直し案

科目	教育課程												
	1年		2年		3年		4年						
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
基礎科目 (22単位)	■地域等の特性(4単位)【DP1】 山形・東北の風土・伝統文化 2				哲学と東北 2								
	■コミュニケーション能力(8単位)【DP2】 (自由)英語基礎 2 コミュニケーション論 2		ビジネス英語 I 2		ビジネス英語 II 4								
	■一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)(10単位)【DP2】 情報基礎(実習) 1		1単位を選択 SDGsと倫理 2 情報応用(実習) 1 スポーツ(実習) 1		2単位を選択 政治学概論 2 社会学概論 2 法律学概論 2		経済学入門 2						
	(自由)生物学 2 (自由)化学 2 (自由)物理学 2		2単位を選択 気象・気候学概論 2 統計学 2										
職業専門 科目 (87単位)	■生産理論・技術(32単位)【DP3】 土壌・肥料学 2 農業概論 4 耕畜連携論 1		農業概論演習 2 植物病理学 2 家畜衛生学 2		(自由)家畜人工授精論 4		先端農業技術論 1						
	圃場実習 I 8		2単位を選択 栽培各論(稲作) 2 栽培各論(野菜・花き) 2 栽培各論(果樹) 2 飼育各論(畜産) 2		8単位を選択 圃場実習 II(稲作) 8 圃場実習 II(野菜・花き) 8 圃場実習 II(果樹) 8 圃場実習 II(畜産) 8								
	■経営全般(生産管理、経営管理等)(40単位)【DP1】【DP3】【DP4】 農業実地体験実習 1		SDGsと農業・森林業 2		マーケティング論 2 組織マネジメント論 2 農業経済学 2		農業政策 2 農業経営分析・計画 2 税制・簿記論 1						
			臨地実務実習 I(生産管理等) 8		臨地実務実習 II(経営管理等) 8		簿記各論 1 臨地実務実習 III(経営総合) 8						
■加工・販売(7単位)【DP5】		農業生産工程・食品衛生論 2		食品製造・販売 2		食品製造・販売実習 2							
■地域課題解決能力(8単位)【DP1】【DP3】【DP7】		講義:2単位、演習:1単位、計3単位を選択 東北の稲作 2 東北の野菜・花き 2 東北の果樹 2 東北の畜産 2		東北の稲作演習 1 東北の野菜・花き演習 1 東北の果樹演習 1 東北の畜産演習 1		農山村活性化論 1 農山村活性化論演習 4							
展開科目 (20単位)	■応用的・創造的能力(20単位)【DP2】【DP6】 講義(1~4年前期):2単位、演習(1~4年後期):2単位 ※講義10単位と演習10単位を選択												
	デザイン論	デザイン論 演習	金融学	金融学演習	発酵学 ・醸造学	発酵学 ・醸造学演習	建築学	建築学演習	社会福祉論	社会福祉論 演習	栄養学	栄養学演習	山形・東北 観光学
総合科目 (4単位)	■総合的能力(4単位)【DP7】【DP8】 経営分析・計画演習 4												

＜カリキュラムの概要＞

1年
農業の分野全般にわたる講義・演習と実習等を通じ、自分が将来的に経営したい分野への理解を深める

↓

2年
自らが将来経営の軸にしたい分野を中心とした生産管理の学び等を深める

↓

3年
農業経営に必要な経営管理の学び等を深める

↓

4年
これまで学んだ生産管理及び経営管理の学び等を総合化し、就農に備える

カリキュラムマップ（案）（森林業経営学科（仮称））

見直し案

科目	教育課程												
	1年		2年		3年		4年						
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎科目 (22単位)	■地域等の特性(4単位)【DP1】 山形・東北の風土・伝統文化 2						哲学と東北 2						<p><カリキュラムの概要></p> <p>1年 森林業の分野全般にわたる講義・演習と実習等を通じ、自分が将来的に経営したい分野への理解を深める</p> <p>↓</p> <p>2年 自らが将来経営の軸にしたい分野を中心とした生産管理の学び等を深める</p> <p>↓</p> <p>3年 森林業経営に必要となる経営管理の学び等を深める</p> <p>↓</p> <p>4年 これまで学んだ生産管理及び経営管理の学び等を総合化し、就業に備える</p>
	■コミュニケーション能力(8単位)【DP2】 (自由)英語基礎 2 コミュニケーション論 2		ビジネス英語 I 2		ビジネス英語 II 4								
	■一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)(10単位)【DP2】		1単位を選択 情報基礎(実習) 1		1単位を選択 情報応用(実習) 1 スポーツ(実習) 1								
			2単位を選択 SDGsと倫理 2		2単位を選択 政治学概論 2 社会学概論 2 法律学概論 2		経済学入門 2						
職業専門科目 (87単位)	■生産理論・技術(33単位)【DP3】 森林土壌・樹木学 2 造林学 2 森林生産学 2 森林労働安全衛生論 1		■非木材森林産品概論 1 森林生態系サービス概論 1 森林保護学 2 森林保全学 2		■測量学 2 森林情報学 1		先端森林業技術論 1						
	■経営全般(生産管理、経営管理等)(40単位)【DP1】【DP3】【DP4】		演習林実習 I 8		演習林実習 II 8								
	■加工・販売(6単位)【DP5】		森林業実地体験実習 1		臨地実務実習 I(生産管理等) 8		臨地実務実習 II(経営管理等) 8		SDGsと農業・森林業 2		国際森林業論 1		
									マーケティング論 2 組織マネジメント論 2 森林経営管理学 2		森林環境政策 2 森林業経営分析・計画 2 税制・簿記論 1		
									簿記各論 1		簿記各論 1		
									森林業実地体験実習 1		臨地実務実習 III(経営総合) 8		
展開科目 (20単位)	■地域課題解決能力(8単位)【DP1】【DP3】【DP7】		木質科学概論 2		木材利活用論 2		木材加工・販売実習 2						
	■応用的・創造的能力(20単位)【DP2】【DP6】		講義:2単位、演習:1単位、計3単位を選択 東北の森林経営管理 2 東北の森林資源利活用 2		東北の森林経営管理演習 1 東北の森林資源利活用演習 1		農山村活性化論 1		農山村活性化論演習 4				
総合科目 (4単位)	■総合的能力(4単位)【DP7】【DP8】		講義(1~4年前期):2単位、演習(1~4年後期):2単位 ※講義10単位と演習10単位を選択										
			デザイン論 デザイン論演習		金融学 金融学演習		発酵学・醸造学 発酵学・醸造学演習		建築学 建築学演習		社会福祉論 社会福祉論演習		
								栄養学 栄養学演習		山形・東北観光学 山形・東北観光学演習			
										経営分析・計画演習 4			

卒業単位:133単位

※白色は必修科目、オレンジは選択科目、水色は自由科目(自由科目は卒業単位に含めない)

学位の見直し、臨地実務実習先候補の追加選定について

学位の見直しについて

「農学士(専門職)」を「農業学士(専門職)」に、
「林学士(専門職)」を「森林業学士(専門職)」に、それぞれ見直す。

【考え方】

専門職大学設置基準(文部科学省令)により、学位名称は学科名称と同様に、その対象とする産業分野の名を冠して設定するのが基本とされていることを踏まえ、改めるもの。

東北他県の臨地実務実習先候補の選定について

【考え方】

「東北」を冠する専門職大学であり、学生の学びの機会を更に広げる観点から、臨地実務実習先を東北各県にも広げる。

【選定基準案】

東北各県の県庁を通じ、来春を目途に、東北他県(青森、岩手、秋田、宮城、福島)にも一定程度、臨地実務実習先を確保する。

※ 各県とも、農業経営体で各10ヵ所、森林業経営体で各2ヵ所を目安に確保する。

・ 東北他県の実習先については、以下の点に留意しながら選定する。

- ① 山形県内では対応できない実習内容を行えるところを選定
(例: 宮城県石巻市の合板工場にて、最先端の直交集成板(CLT)の製造実習を行う)
- ② 山形県内で実施するよりも高い教育効果が見込めるところを選定
(例: りんごの輸出先進地である青森県津軽地方で、りんごの輸出に取り組む法人での実習を行う)
- ③ 農業分野については、各県の地域バランス・特性を考慮して選定
(例: 福島県であれば、浜通り・中通り・会津の3地域で実習先を確保)

授業料等について

授業料等の考え方及び水準

① 国立大学

社会経済情勢等を総合的に勘案し、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」(国立大学法人法に基づく文部科学省令)において、下記の標準額が定められており、ほぼ全ての国立大学が、当該標準額と同額の授業料等を定めている(省令第2条第1項)。

※ 特段の事情がある場合、国立大学ごとに、標準額の20%を上限に授業料等の値上げが可能(省令第10条。なお、標準額より高額な授業等を設定しているのは一橋大学、千葉大学、東京工業大学、東京芸術大学のみ。)

大学名(例)	検定料	入学金	授業料(年額)
山形大学	17,000円	282,000円	535,800円

② 公立大学(県立大学)

国立大学法人に準拠して定めているのが一般的。ただし、設置県による大学教育サービス提供の趣旨、自県民と他県民の間における受益と負担のバランス(公平性)を図る等の観点から、県外からの入学者については、県内からの入学者よりも多い額の入学金の額を定めていることが一般的。

大学名	検定料	入学金	授業料(年額)
米沢栄養大学(山形) 保健医療大学(山形)	17,000円	県内者282,000円 県外者564,000円	535,800円
宮城大学(宮城) 新潟県立大学(新潟)	17,000円	県内者282,000円 県外者564,000円	535,800円
秋田県立大学(秋田)	17,000円	県内者282,000円 県外者423,000円	535,800円

東北農林専門職大学の授業料等の額(案)

国立大学や本県内外の公立大学(県立大学)の状況を参考に、以下のとおり定める。

大学名	検定料	入学金	授業料(年額)
東北農林専門職大学 (山形)	17,000円	県内者282,000円 県外者564,000円	535,800円

※この他、実習実験費等の納付を別途求めることがある。具体的内容及び金額については今後検討。